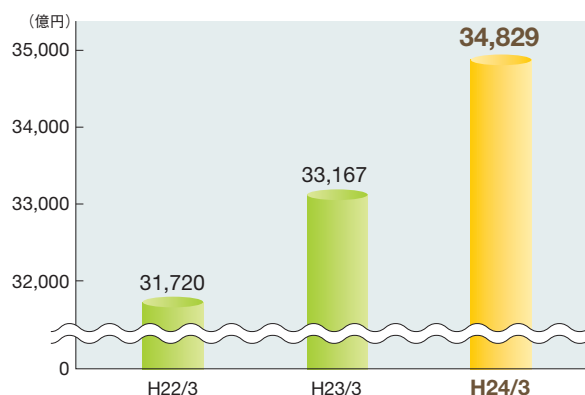


## ■ 預金残高

年間増加率5.0%!

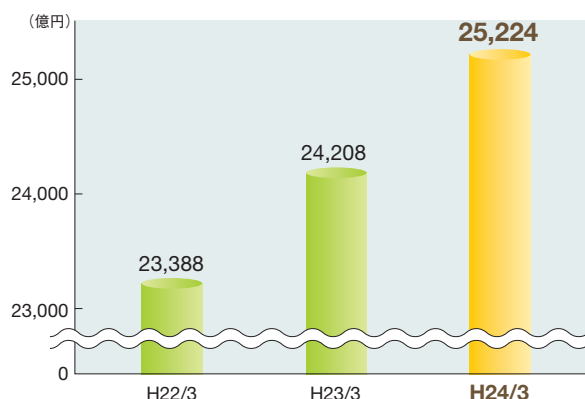
積極的な店舗展開や、先進的なATMおよび貸金庫サービスがお客様よりご支持をいただいております。預金残高は年間で1,661億円増加し、3兆4,829億円(年間増加率5.0%)となりました。



## ■ 貸出金残高

年間増加率4.1%!

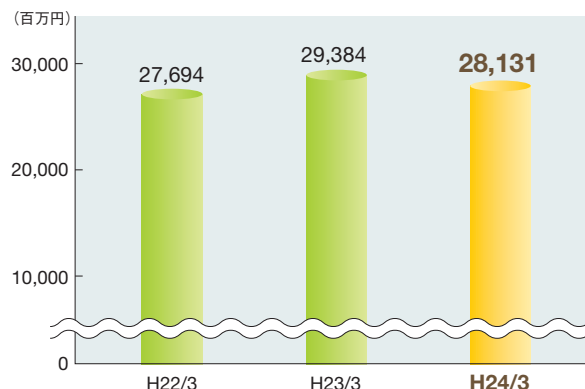
県内の中小企業向け貸出や、住宅ローンを中心とする個人向け貸出の推進に積極的に取り組んだ結果、貸出金残高は年間で1,015億円増加し、2兆5,224億円(年間増加率4.1%)となりました。



## ■ コア業務純益

高い収益力を維持!

積極的な設備投資に伴い経費が増加したものの、預金、貸出金の残高が順調に伸び、資金利益が堅調に推移したこと等から、銀行本来の収益力を示すコア業務純益は281億円と高水準を維持しています。

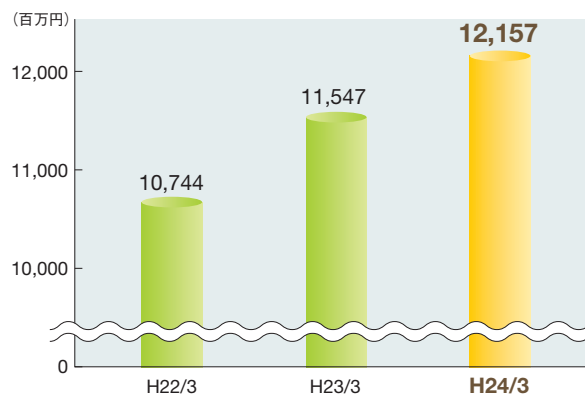


コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

## ■ 当期純利益

### 3期連続増益!

当期純利益は前期比6億円増加し、121億円となり、3期連続で増益しました。

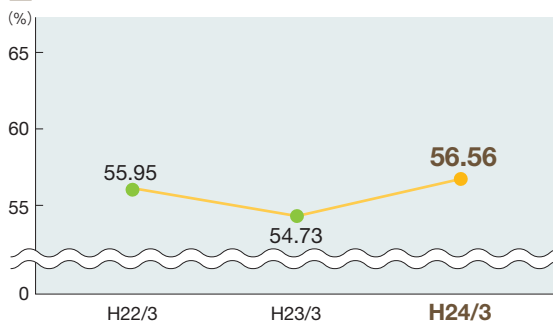


## ■ OHR・経費率

### 効率経営!

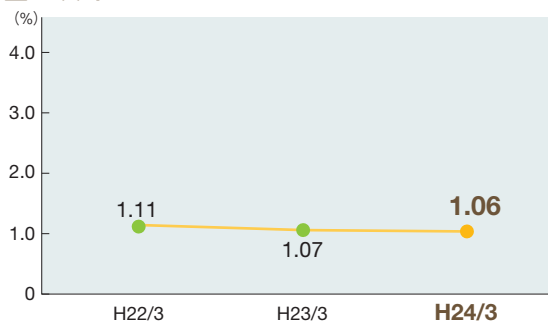
OHRおよび経費率は低い水準を維持し、効率的な経営を行っています。

#### ■ OHR



$$\text{OHR} = \frac{\text{経費(臨時的経費を除く)}}{\text{コア業務粗利益}}$$

#### ■ 経費率



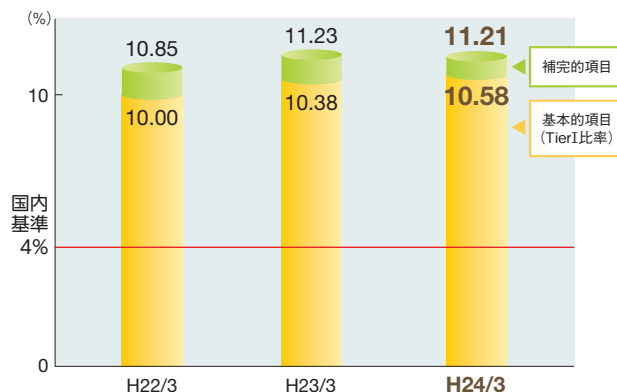
$$\text{経費率} = \frac{\text{経費(臨時的経費を除く)}}{\text{預金・譲渡性預金の期中平均残高}}$$

※OHRおよび経費率は、数値が小さいほど効率性が高いことを示します。

## ■ 自己資本比率

### 基準をはるかに上回る高水準!

自己資本比率は11.21%であり、拠点を国内に限っている銀行の基準である4%をはるかに上回っています。また、基本的項目(TierI比率)は10.58%であり、資本の質は極めて高い水準を維持しています。



#### 基本的項目とは?

資本金・剰余金などの、本来の自己資本のこと。

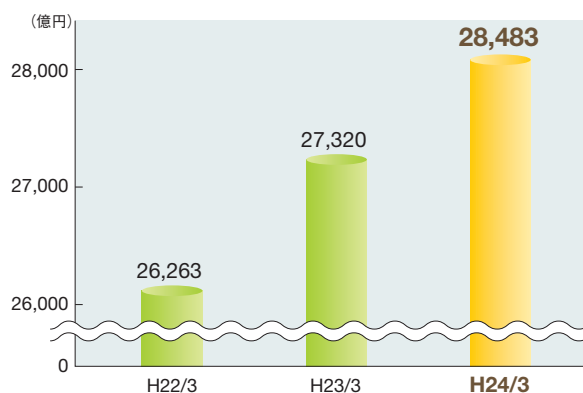
#### 補完的項目とは?

一般貸倒引当金・土地の含み益の一部など。

## ■ 個人預金残高

### 年間増加率4.2%!

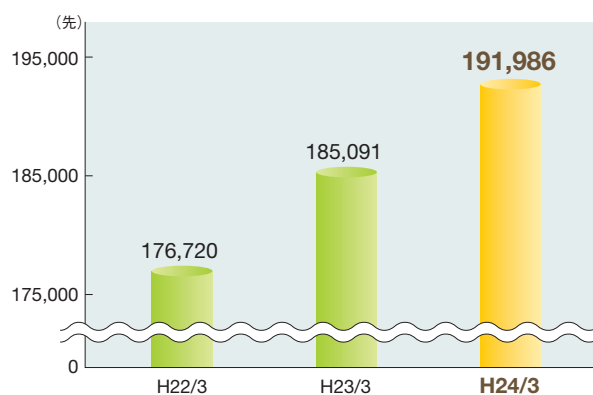
年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等から、個人預金残高は年間で1,163億円増加し、2兆8,483億円(年間増加率4.2%)となりました。



## ■ 年金受取指定先数

### 年間で6,895先増加!

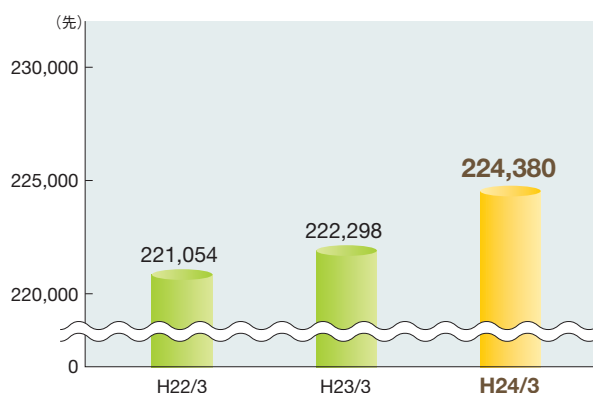
社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスなどが、ご好評をいただいています。年金受取指定先数は年間で6,895先増加(年間増加率3.7%)しました。



## ■ 給与振込指定先数

### 年間で2,082先増加!

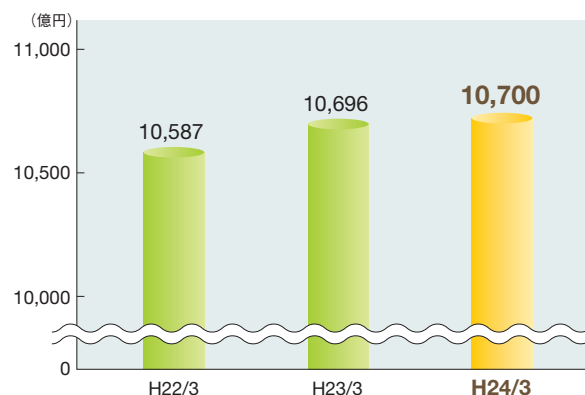
住宅ローン等をご利用いただいているお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層の方々に向けた給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で2,082先増加(年間増加率0.9%)しました。



## ■ 中小企業向け貸出金残高

### 堅調に推移!

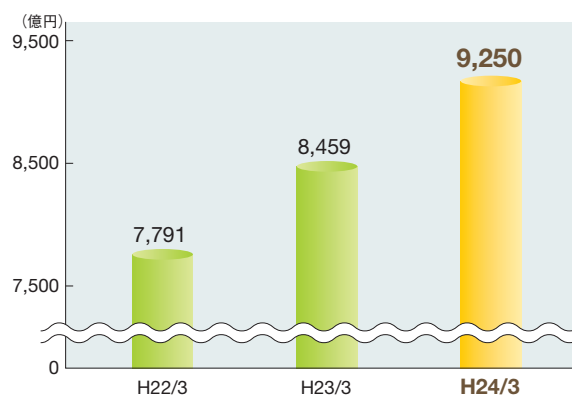
東日本大震災により千葉県経済がさまざまな影響を受けているなか、中小企業の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、中小企業向け貸出金残高は年間で3億円増加し、1兆700億円(年間増加率0.03%)となりました。



## ■ 住宅ローン残高

### 年間増加率9.3%!

お客さまの住宅資金ニーズ(新築、借換え、リフォーム等)に積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は年間で791億円増加し、9,250億円(年間増加率9.3%)となりました。

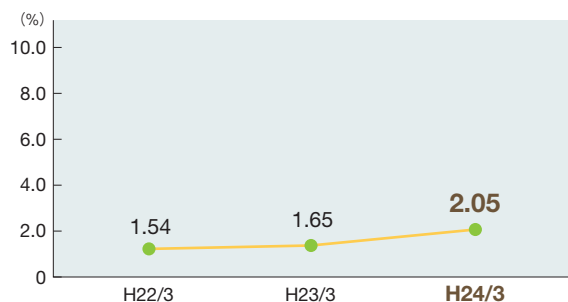


## ■ 不良債権比率(金融再生法基準)

### 高い健全性を維持!

金融再生法基準の不良債権比率は2.05%と引き続き高い健全性を維持しています。また、不良債権に対する保全状況はカバー率85.05%と今後の損失発生に備え十分な水準にあります。

#### ■ 不良債権比率(金融再生法基準)



#### ■ 不良債権の保全率

